

第2回 京浜急行大師線連続立体交差事業  
2期区間踏切対策に関する有識者懇談会 議事要旨

1 日時 令和8年2月19日(木) 13時00分～14時00分

2 場所 川崎市役所本庁舎

3 議事

(1) 地域説明・アンケートについて

(2) 今後の取組推進について

4 委員からの主な意見

- ・鉄道アンダー案について、技術的な実現性はあると判断できる。アンケート結果からも早期の整備が望まれるが、一方で、治水安全性の確保や、沿線地域への影響の低減に向け、更なる技術的な検討・検証が必要である
- ・地域のニーズや利用状況を定期的に把握し、取組につなげていくことや、取組効果の把握について、検討を進めていくことが重要である  
短・中期的な安全対策を優先しつつも、代替ルート確保による踏切の利用機会低減など幅広い検討が望ましい
- ・安全対策に関する定量的な効果の把握については、検討案をベースに、踏切利用の特性等を踏まえ検討していくことが望ましい
- ・2期区間踏切対策の検討状況や1期②区間の早期完成に向けた取組状況を踏まえ、都市計画変更手続きに着手する市の姿勢は理解できる  
一方で、代替案の確定には至っていないことから、引き続き、鉄道事業者や河川管理者などとの協議に取り組むことと合わせ、検討の進捗状況について、継続して地域へ説明していく姿勢が大切である